

令和7年 四・秋冬番茶情勢について

令和7年10月27日現在
J A静岡経済連 茶業課

1 気象状況

- (1) 気温は、9月から10月中旬にかけて平年より2℃程度高く推移しています。
(2) 降水量は、9月上旬～中旬は平年より多く、10月上旬・中旬は少ない状況です。

(アメダス菊川牧之原)

時 期		平均気温 (℃)		降水量 (mm)		日照時間 (時間)	
		本 年	平年差	本 年	平年差	本 年	平年差
9 月		25.3	+2.6	350.5	+77.7	201.5	+42.7
10 月	上旬	21.8	+2.1	4.0	▲102.8	37.6	▲11.9
	中旬	20.1	+2.1	35.5	▲34.6	21.6	▲30.9

2 生産状況

- (1) 生産は10月末に大方終了する見込みですが、10月下旬の曇天や降雨により中断又は生産を終了する工場が見られます。てん茶生産など一部の工場では、11月10日頃まで生産が続く見込みです。
(2) 反収は例年より少なく推移しており、夏季の高温・干ばつなど気象による影響が大きいと推察されます。圃場場所や品種による格差も見られます。
(3) 数年振りに操業する工場や例年収穫していない圃場を摘採する生産者もあり、生産意欲は高く、高価格で取引されるてん茶への生産転換の動きも見られます。
(4) 各地区での生葉移動が活発化しており、荒茶生産量は、地域・工場間の格差が大きく見られます。

3 流通状況

- (1) ドリンク原料を中心に積極的な仕入れが続いています。
(2) 現在の相対取引価格は1,500円前後から1,800円程度、静岡茶市場の入札取引価格は番茶2,200円程度、秋てん茶4,000円前後、出物700円程度となっています。終盤を迎え番茶の出品は減少し、秋てん茶の出品は増加傾向となっています。
(3) 県内産が減産の状況から、県外産の引き合いは更に強く、県内産以上の価格で推移しています。県外産も数量の膨らみがなく減産傾向で推移しています。

4 静岡茶市場及び鹿児島茶市場の取扱状況

(単位：kg・円・%)

項 目		令和7年(10/27現在)		令和6年最終実績		前年比	
		数量	単価	数量	単価	数量	単価
静岡 茶市場	県内産	233,729	1,908	334,739	342	69.8	557.4
	(内入札)	56,269	2,727	—	—	—	—
	県外産	178,051	2,084	272,722	368	65.3	566.2
鹿児島茶市場		643,311	2,315	1,139,988	379	56.4	610.1

(株)静岡茶市場情報 (10月27日現在)

県内産秋冬番茶は秋てん茶を除き東部地区が終了となり、各産地とも最終盤です。
減産が確実なことから、依然として引き合いが強く、取引価格の上昇傾向が続いています。

以 上